



《将来に向けた取組方針》

エア・ウォーターグループは、創業以来、空気や水をはじめとした地球の資源を活用し、事業を展開していることから、地球環境を維持することが企業の持続的発展に不可欠であると認識し、「エア・ウォーターグループ環境ビジョン2050」に基づいて、グループ全体で環境負荷低減ならびに環境保全活動に取り組んでいます。生物多様性の保全と自然資源の持続可能な利用は、気候変動対策とともに、グローバルでの重要な課題であり、エア・ウォーターグループでは、持続的な社会の実現に向けて、生物多様性の保全に関して、行動指針を定めています。

《具体的取組み事例》

1. 安曇野エア・ウォーターの森

エア・ウォーターは、2021年11月より、長野県安曇野市堀金地区の市有林の一部を「安曇野エア・ウォーターの森」として森林保全活動に取り組んでいます。近隣には、地域循環型のエネルギー供給システム「安曇野バイオマスエネルギーセンター」が稼働しており、こうした農山村固有の資源を有効活用した事業を進めるにあたり、森林を保全し苗木を植えて育てることが循環型社会の実現および地域振興に寄与するという認識のもと、「循環する森づくり」に積極的に取り組んでいます。



2. 脱プラスチックの取り組み

脱プラスチックへの動きが加速する中、ペットボトルに代わる容器として「紙容器」が注目されています。当社グループで飲料事業を展開するゴールドパック(株)は、2021年3月に、紙容器入りのナチュラルミネラルウォーター「Azumino Mineral Water」(1L)を販売開始しました。「テトラ・ジェミーナ[®]アセプティック容器」を採用し、同社従来品のキャップ付き2Lペットボトルと比較してプラスチック使用量を22%削減することが可能となりました。



《今後の課題等》

今後は、「昆明・モンリオール生物多様性枠組 (GBF)」や「生物多様性国家戦略」を念頭に、2030年頃を見据えての生物多様性の取組を進め、TNFDフレームワークに基づいた情報開示を進めていきます。

《社会に向けたメッセージ》

エア・ウォーターグループは「地球の恵みを社会の望みに」というパーパスのもと、生物多様性保全を含む地球環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。